

**製品名:  $\alpha$ 4Gn-T ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab20333**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	39kDa

**抗原情報**

遺伝子名	A4GNT
別名	A4GNT; Alpha-1; 4-N-acetylglucosaminyltransferase; Alpha4GnT
遺伝子 ID	51146.0
SwissProt ID	Q9UNA3
免疫原	抗血清はヒト A4GNT 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

**背景**

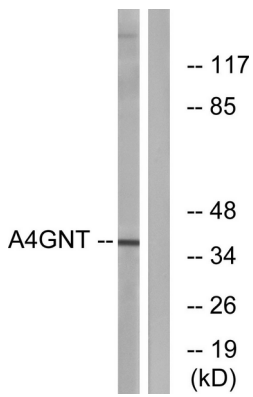
この遺伝子は、糖転移酵素 32 ファミリーに属するタンパク質をコードしています。この酵素は、N-アセチルグルコサミン (GlcNAc) のコア 2 分岐 O-グリカンへの転移を触媒します。この酵素は、GlcNAc $\alpha$ 1 $\rightarrow$ 4Gal $\beta$  $\rightarrow$ 6R という独特なグリカンを形成

し、主にゴルジ体膜に局在します。[RefSeq 提供、2008年7月],ドメイン: 保存された DXD モチーフが酵素活性に関与しています。、  
機能: III 型ムチンの合成に必須です。N-アセチルグルコサミン (GlcNAc) のコア 2 分岐 O-グリカンへの転移を触媒します。、オンラ  
イン情報:  $\alpha$ -1,4-N-アセチルグルコサミン転移酵素,オンライン情報: GlycoGene データベース,パスウェイ: タンパク質修飾;タンパ  
ク質の糖化。、類似性:グリコシルトランスフェラーゼ 32 ファミリーに属する。、組織特異性:胃と脾臓で検出される。、

## 研究分野

-

## 画像データ



A4GNT 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。